

平成 28 年度事業報告について

基本方針

平成 28 年 3 月 26 日の北海道新幹線開業を契機として、県内の自治体、観光関係団体、観光事業者等が一丸となり、戦略的な情報発信などの効果的なプロモーション活動を行うとともに、県内各地における多彩な観光コンテンツづくり、おもてなしの気運醸成を含む観光客受入体制の整備を推進することにより本県観光産業の振興を図った。

また平成 28 年 7 月から 9 月に青森県・函館デスティネーションキャンペーン（以下「青森県・函館 DC」という。）を実施し、JR グループ及び北海道道南地域関係者と連携しながら、ガイドブック制作による情報発信などの各種取り組みを積極的に進めることにより、全国からの集中的な誘客や地域経済の活性化を図った。

さらに、本県観光を含めた産業振興に効果が高いコンベンション誘致及び教育旅行についても重点的に取り組むとともに、海外からの観光客の誘致促進を図るため、韓国・台湾を中心に、引き続き積極的な誘致活動を展開した。

青森県観光物産館管理運営事業は、開館 30 周年記念企画を実施したほか、「青森県・函館 DC」をふまえ、収益拡大対策を図るとともに、より一層の経営効率化を図りながら、来館者の満足度向上とリピーター確保に向けた各種取り組みを推進し、本県観光・物産及び産業の情報発信拠点としての機能強化と魅力向上に努めた。

〔公益目的事業〕

1 観光振興事業

(1) 観光情報発信事業

① 青森県観光情報センター運営事業

県内の魅力ある観光資源に関する情報を観光客や旅行エージェント等に発信するため、青森県観光情報センターを運営した。

- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆業務内容
 - ・観光素材（パンフレット等）収集
 - ・旅行エージェント等に対する情報提供

② 青森県観光情報ネットワークシステム運営事業（県委託事業）

本県を訪れる観光客等が、観光情報をインターネットにより入手できるよう県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行った。

③ キーインフルエンサー獲得事業（県委託事業）

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図った。

- ◆期 間 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月
- ◆内 容
 - ・本県と関連がある著名人の発掘、リストアップ
 - ・様々なコネクションを利用した働きかけによるキーインフルエンサーの獲得
 - ・キーインフルエンサー来県時の対応

(2) 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら各種事業を重点的に実施した。

① 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

ア 第 1 回会議

- ◆期 日 平成 28 年 5 月 23 日(月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 28 年度の事業及びスケジュールについて

イ 第 2 回会議

- ◆期 日 平成 28 年 11 月 22 日(火)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 教育旅行誘致活動状況について

ウ 第 3 回会議

- ◆期 日 平成 29 年 3 月 17 日(金)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 28 年度教育旅行誘致活動状況について
平成 29 年度教育旅行誘致事業計画（案）について

② 教育旅行誘致資料等の制作（県委託事業）

ア あおもり教育旅行ガイドブックの作成・配付

- ◆部 数 12,000 部

イ 青森県教育旅行ホームページの更新

③ 教育旅行実施状況調査の実施（県委託事業）

- ◆内 容 平成 28 年分県内宿泊施設に対する調査
- ◆対 象 県内ホテル、旅館等
- ◆期 間 平成 29 年 1 月～3 月調査実施

④ 学校関係者・教育旅行エージェントに対する情報提供（県委託事業）

ア 首都圏対策

（ア）首都圏教育旅行エージェント現地視察会・商談会

- ◆期 間 平成 28 年 8 月 24 日（水）～26 日（金）
- ◆場 所 青森市、外ヶ浜町、五所川原市、平川市、青森市
- ◆参 加 者 首都圏教育旅行エージェント 3 名、教育旅行誘致促進会連絡会議構成員等 13 名

（イ）北関東教育旅行誘致キャラバン

- ◆期 間 平成 28 年 9 月 26 日（月）～28 日（水）
- ◆訪 問 先 茨城県、群馬県、栃木県内教育旅行エージェント 14 社、茨城県、群馬県、栃木県教育委員会
- ◆参 加 者 青森県、秋田県、岩手県

（ウ）首都圏教育旅行エージェントキャラバン

- ◆期 間 平成 28 年 11 月 28 日（月）～30 日（水）
- ◆訪 問 先 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県内教育旅行エージェント 30 社、中学校 2 校、埼玉県教育委員会
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 16 名

（エ）教育関係団体等の発表会等への参加

- ◆東北教育旅行セミナー（東京会場）/主催：東北観光推進機構
- ◆全国修学旅行研究大会/主催：（公財）全国修学旅行研究協会
- ◆第 12 回教育旅行シンポジウム/主催：（公財）日本修学旅行協会

イ 北海道対策

（ア）道央地区旅行エージェントキャラバン

- ◆期 間 平成 28 年 8 月 30 日（火）～9 月 2 日（金）
- ◆訪 問 先 札幌市、旭川市、苫小牧市旅行エージェント 16 社、中学校 53 校、札幌市教育委員会
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 18 名

（イ）道南地区旅行エージェントキャラバン及び学校訪問

- ◆期 間 平成 28 年 10 月 3 日（月）～5 日（水）
- ◆訪 問 先 函館市、北斗市、森町、七飯町旅行エージェント 8 社、小中学校 61 校、函館市、北斗市教育委員会
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 23 名

（ウ）教育関係団体等の発表会等への参加

- ◆東北教育旅行セミナー（札幌会場）/主催：東北観光推進機構
- ◆東北教育旅行セミナー（苫小牧会場）/主催：東北観光推進機構
- ◆東北教育旅行セミナー（函館会場）/主催：東北観光推進機構
- ◆修学旅行説明会（室蘭会場）/主催：J R 北海道
- ◆青森県教育旅行説明会（青森会場）/主催：東北観光推進機構

ウ 北陸対策 ※新規

(ア) 新潟教育旅行誘致キャラバン

- ◆期 日 平成 28 年 12 月 1 日(木)
- ◆訪 問 先 石川県の旅行エージェント 3 社、新潟県教育委員会

(3) コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の動機付けとなるコンベンション開催費助成事業を実施するとともに、県内外の大学、団体、企業等への誘致活動を展開した。

① コンベンション誘致促進連絡会議の開催

ア 第 1 回会議

- ◆期 日 平成 28 年 5 月 23 日(月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 28 年度の事業及びスケジュールについて

イ 第 2 回会議

- ◆期 日 平成 28 年 11 月 22 日(火)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 28 年度事業の進捗状況について
平成 29 年度以降の助成金申込状況について
国際ミーティング・エキスポについて

ウ 第 3 回会議

- ◆期 日 平成 29 年 3 月 17 日(金)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 28 年度事業の進捗状況について
平成 29 年度事業計画(案)について
平成 29 年度助成金交付対象(案)について
平成 30 年度以降の助成金申込状況について

② あおもり MICE 誘致活動事業(県補助事業)

ア 開催団体等訪問

県内の大学・団体等を訪問して、助成制度等の説明 P R 及び平成 29 年度以降の学会等の誘致促進を依頼した。

- ◆訪問時期 平成 28 年 6 月 6 日(月)～8 日(水)、15 日(水)
- ◆訪 問 先 県内大学等 12 団体

イ 各種イベント出展等

国際ミーティングエキスポ（IME2016）に県内各観光コンベンション協会と共同で出展し、青森県へのコンベンション誘致活動を行うと共に、本県ブース来場団体に対する事後訪問を実施した。

- ◆開催日 平成 28 年 12 月 6 日（火）～7 日（水）
- ◆場 所 パシフィコ横浜（神奈川県）
- ◆事後訪問 平成 29 年 2 月 1 日（水） 東京都内 7 件

ウ 媒体作成及びホームページによる情報発信

青森県コンベンション施設ガイドの内容修正及び増刷
◆作成部数 500 部

③ 大規模 MICE 開催費助成事業（県補助事業）

県外からの延宿泊者数 100 人以上のコンベンションに対し開催費を助成した。

- ◆交付実績 助成先 23 団体、助成金額 12,766 千円

【コンベンション誘致推進事業の実績等】

誘致事業による県内コンベンション参加者数 15,474 人泊

（4）外国人観光客誘致拡大事業

韓国・台湾を中心とした東アジアからの外国人観光客の誘致活動をより一層積極的に展開するとともに、県内観光事業者の受入意識やサービスの向上、外国人観光客受入体制の充実・強化を図った。

① 国際観光推進連絡会議の開催

ア 第 1 回会議

- ◆期 日 平成 28 年 5 月 23 日（月）
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 28 年度事業について

イ 第 2 回会議

- ◆期 日 平成 28 年 11 月 22 日（火）
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 28 年度事業の進捗状況について

② 外国人コミュニケーションツール作成事業（県委託事業）

外国人観光客と県内の観光事業者等が円滑なコミュニケーションを図るため、外国語指差しシート等のコミュニケーションツールを活用した県内外の先進的な事例を調査・分析するとともに、県内の観光事業者等が活用できる外国語指差しシートの作成・配布を行った。

- ◆調査先 東京ハイヤー・タクシー協会ほか全国 12 か所
- ◆部数 3 種 計 3,500 部
- ◆配布先 県内観光関係機関約 600 か所
- ◆その他 青森県観光情報サイト「アプティネット」からシート PDF データのダウンロードが可能

③ 韓国誘客拡大事業（県委託事業）

青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘客促進を図るため、大韓航空、韓国旅行エージェント等と連携して誘客宣伝事業等を実施した。

ア 広告支援金の助成

韓国人観光客の誘客拡大を目的として、韓国旅行エージェントに対し、旅行商品販売促進のための広告支援を実施した。

(ア) 2016 年 4 月青森旅行商品販売促進プロモーション助成

- ◆支援商品 韓国発青森旅行商品（青森・ソウル線往復利用）
- ◆支援件数 6 件
- ◆支援先 韓国旅行エージェント 3 社

(イ) 2016 年 5 月－7 月青森旅行商品販売促進プロモーション助成

- ◆支援商品 韓国発青森旅行商品（青森・ソウル線往復利用）
- ◆支援件数 9 件
- ◆支援先 韓国旅行エージェント 4 社

(ウ) 2016 年 8 月－12 月青森旅行商品販売促進プロモーション助成

- ◆支援商品 韓国発青森旅行商品（青森・ソウル線往復利用）
- ◆支援件数 9 件
- ◆支援先 韓国旅行エージェント 4 社

(エ) 2016 年度トレッキング商品販売促進プロモーション助成

- ◆支援商品 韓国発青森トレッキング商品（青森・ソウル線往復利用）
- ◆支援件数 2 件
- ◆支援先 ヘチヨ旅行開発

(オ) 2016 年度ゴルフ商品販売促進プロモーション助成

- ◆支援商品 韓国発青森ゴルフ商品（青森・ソウル線往復利用）
- ◆支援件数 4 件
- ◆支援先 ホドトラベル

- (カ) 2016年4月－8月共同プロモーション広告支援(メディアミックス)
- ◆支援商品 韓国発青森旅行商品(青森・ソウル線往復利用)で、販売促進に効果的なメディア(SNS、大手ポータルサイト、旅行エージェントホームページ及び主要日刊紙等)を活用して青森観光情報の発信を行う商品
 - ◆支援件数 2件
 - ◆支援先 ハナツアー
- (キ) 2016年9月－12月共同プロモーション広告支援(メディアミックス)
- ◆支援商品 韓国発青森旅行商品(青森・ソウル線往復利用)で、販売促進に効果的なメディア(SNS、大手ポータルサイト、旅行エージェントホームページ及び主要日刊紙等)を活用して青森観光情報の発信を行う商品
 - ◆支援件数 2件
 - ◆支援先 ハナツアー

イ 韓国エージェント招聘ファミツアー

(ア) 韓国ゴルフファミツアー

韓国人観光客向けゴルフ商品の造成・販売促進を図るため、関係者を招聘してファミツアーを実施した。

- ◆時期 平成28年5月27日(金)～29日(日)
- ◆場所 青森カントリー倶楽部ほか 県内20か所
- ◆参加者 韓国ゴルフ商品関係旅行エージェント 5社

(イ) 大韓航空連携社ファミツアー

大韓航空を利用した青森旅行商品の造成・販売促進を図るため、関係者を招聘してファミツアーを実施した。

- ◆時期 平成28年7月8日(金)～10日(日)
- ◆場所 八甲田ロープウェーほか 県内16か所
- ◆参加者 大韓航空及び大韓航空連携旅行エージェント 8社

ウ MICE誘致

(ア) MICEファミツアー

韓国民間企業・団体等のMICE誘致を図るため、関係者を招聘してファミツアーを実施した。

- ◆時期 平成28年5月8日(日)～11日(水)
- ◆場所 立佞武多の館ほか 県内17か所
- ◆参加者 韓国民間企業・団体関係者 8社

(イ) MICE商談会等参加

国内外で開催された商談会に参加し、青森県内の宿泊・観光施設等の情報提供、具体的な観光ルートの提案などを行った。

- ㊦ VISIT JAPAN EAST ASIA トラベル&マート 2016 商談会
 - ◆時 期 平成 28 年 6 月 22 日（水）
 - ◆場 所 仙台市「仙台国際センター」
 - ◆商 談 数 韓国エージェント 6 件
- ㊧ VISIT JAPAN トラベル&マート 2016 商談会
 - ◆時 期 平成 28 年 9 月 21 日（水）～23 日（金）
 - ◆場 所 東京都「東京国際展示場」
 - ◆商 談 数 韓国エージェント 2 件
- ㊨ ソウルインセンティブマート商談会
 - ◆時 期 平成 28 年 9 月 27 日（火）
 - ◆場 所 ソウル市「ロッテホテル」
 - ◆商 談 数 韓国民間企業・団体及びエージェント 15 件
- (ウ) 全羅南道谷城郡公務員研修

全羅南道谷城郡が公務員研修として本県を訪れ、観光誘客に向けた取り組み等に係る意見交換や記念品交換により交流を図った。

 - ◆時 期 平成 29 年 2 月 20 日（月）
 - ◆場 所 青森県観光物産館
 - ◆来 訪 者 全羅南道谷城郡 ムン本部長 ほか 17 名

エ 韓国国内イベント参画

- (ア) 日韓交流おまつり 2016

青森県ブースにおいて、旅行商品 P R チラシ・観光パンフレットを配布したほか、あおもり観光マスコットキャラクター「いくべえ」による観光 P R 等を行った。

 - ◆時 期 平成 28 年 10 月 2 日（日）
 - ◆場 所 COEX ホール（ソウル市）
- (イ) ランタンフェスティバル 2016

会場内に青森ねぶたを設置し、来場者に対して観光 P R を行った。

 - ◆期 間 平成 28 年 11 月 6 日（日）～22 日（火）
 - ◆場 所 清溪川沿い会場（ソウル市）

オ その他、韓国からの誘致促進に効果的な業務

- (ア) 大韓航空共同オンラインプロモーション

青森・ソウル線を利用した、個人手配の海外旅行（以下「FIT」）客の増加を図るため、大韓航空ホームページを活用した販売促進イベント（オンラインプロモーション）における景品提供を通じて青森・ソウル線航空券の販売促進を図った。

 - ◆期 間 平成 28 年 6 月 20 日（月）～7 月 24 日（日）
- (イ) 2016 日韓フォトコンテスト

在韓日本大使館公報文化院が主催する 2016 日韓フォトコンテストを後援するとともに、「青森賞」の提供により本県の観光 P R と日韓の交流を図った。

- ◆期 間 平成 28 年 7 月中旬～11 月上旬（募集）
平成 28 年 12 月 3 日（土）授与式
- ◆展 示 平成 28 年 12 月 1 日（木）～16 日（金）
在韓日本大使館公報文化院 2 階シルクギャラリー

(ウ) クレア主催「SNS を活用した韓国での情報発信事業」
クレアソウル事務所が実施する日本の各地域の魅力を韓国内で PR するための専用 Facebook において、閲覧者プレゼント向けに青森名産品を提供するとともに、青森県の観光情報の記事掲載により情報発信を図った。

- ◆期 間 平成 28 年 12 月～平成 29 年 3 月

④ 北東北三県・北海道ソウル事務所事業（県委託事業）

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画した。

ア 北東北三県・北海道ソウル事務所の概要

- ◆設置場所 大韓民国ソウル特別市中区南大門路 韓進ビル本館 7 階
- ◆運営主体 北東北三県・北海道ソウル事務所運営協議会
- ◆構 成 員 北海道、青森県、岩手県、秋田県、（一社）北海道貿易物産振興会、（公社）青森県観光連盟、（公財）岩手県観光協会、（一社）秋田県観光連盟

イ 事業内容

(ア) ホームページ活用事業

4 道県及びソウル事務所の認知度向上を図るため、事務所ウェブサイト等を通じて随時観光情報を更新するなどし、魅力的な情報発信とアクセス件数の拡大に努めた。

(イ) 4 道県魅力発信事業（ブロガー招聘）

青森県をはじめ北東北三県及び北海道の魅力を発信して韓国人旅行者の動機付けを図るため、人気ブログによる情報発信を行った。

(ウ) 韓国・旅行エージェント招請事業（VJ 事業）

FIT の誘客を促進するため、レンタカーで周遊する連携旅行商品向けのエージェント招聘ファムを実施した

- ◆期 間 平成 28 年 8 月 31 日（水）～9 月 4 日（日）
- ◆場 所 奥入瀬溪流ほか
- ◆参 加 者 韓国旅行エージェント 4 社

(エ) 観光プロモーション映像制作事業

各種旅行博覧会での放映、観光商談会における旅行エージェント等への案内、事務所ホームページや「YouTube」等での配信に向けて、北東北三県及び北海道の魅力ある観光資源のプロモーション映像を制作した。

(オ) イベント出展

㊦大邱・慶北国際観光博覧会

◆期 間 平成 28 年 4 月 14 日 (木) ~17 日 (日)

◆場 所 EXCO (大邱市)

㊧ハナツアー旅行博覧会

◆期 間 平成 28 年 6 月 9 日 (木) ~12 日 (日)

◆場 所 KINTEX (高陽市)

㊨韓国国際観光展 (KOTFA)

◆期 間 平成 28 年 6 月 9 日 (木) ~12 日 (日)

◆場 所 COEX (ソウル市)

㊩国際健康博覧会

◆期 間 平成 28 年 7 月 21 日 (木) ~24 日 (日)

◆場 所 ヤンジェ AT センター (ソウル市)

㊪釜山国際観光博 (BITF2016)

◆期 間 平成 28 年 9 月 9 日 (金) ~12 日 (月)

◆場 所 BEXCO (釜山市)

㊫モードツアー国際旅行博覧会>

◆期 間 平成 28 年 10 月 13 日 (木) ~16 日 (日)

◆場 所 SETEC (ソウル市)

㊬天皇誕生日記念レセプション (ソウル)

◆期 間 平成 28 年 12 月 8 日 (木)

◆場 所 グランドハイアットソウル (ソウル市)

㊭天皇誕生日記念レセプション (釜山)

◆期 間 平成 28 年 12 月 13 日 (火)

◆場 所 パラダイスホテル (釜山市)

⑤ 津軽海峡交流圏への韓国人誘客拡大事業 (県委託事業)

北海道新幹線の開業により、本県と北海道道南地域の時間距離が近くなったことから、本県と道南地域をひとつの旅行エリアとして知名度向上を図るとともに、旅行商品の造成・販売を促進し、韓国人観光客の誘致拡大を図った。

ア 広告支援

津軽海峡交流圏の認知度向上を図るとともに、旅行商品の造成・販売を促進するため、以下のとおり旅行エージェントへの広告支援を行った。

(ア) 2016 年度北海道連携商品販売促進プロモーション助成

◆支援商品 韓国発青函周遊商品 (青森・ソウル線往復利用)

◆支援件数 1 件

◆支援先 ハナツアー

(イ) 2016 年度津軽海峡交流圏商品販売促進プロモーション助成

- ◆支援商品 韓国発津軽半島周遊商品（青森・ソウル線往復利用）
- ◆支援件数 8 件
- ◆支援先 韓国旅行エージェント 4 社

イ ファームツアー

津軽海峡交流圏の認知度向上を図るとともに、旅行商品の造成・販売を促進するため、以下のとおり韓国教育放送公社 EBS を招聘して大間マグロ取材メディアファームツアーを実施した。

- ◆時 期 平成 28 年 10 月 23 日（日）～30 日（日）8 日間

⑥ 韓国食品展示会出展等事業（県委託事業）

韓国との経済交流を促進するため、韓国食品展示会への出展や韓国バイヤーの招聘により、バイヤー及び一般消費者に対して県産品等の PR を行い、県産品等の認知度向上及び販路開拓を図った。

ア フードウィーク코리아 2016 出展

ソウル市で開催された「フードウィーク코리아 2016」へ出展し、バイヤー及び一般消費者に対して商談、県産品の PR 等を行った。

- ◆実施時期 平成 28 年 11 月 2 日（水）～5 日（土）
- ◆場 所 COEX ワールドトレードセンター（ソウル市）
- ◆出展業者 桃川酒造（株）、（株）スイーツ・ワールド

イ バイヤー招聘業務

韓国から食品関連バイヤーを本県に招聘し、個別商談、産地見学等を行うことにより、県産品への理解を深めてもらい商機の拡大を図った。

- ◆時 期：平成 28 年 11 月 30 日（水）～12 月 2 日（金）
- ◆訪 問 先：（株）ラグノオささき ほか 9 社
- ◆招 聘 者：（株）チョコサイバー ほか 4 社

ウ ビジネス開拓支援

拡大する日本食市場の新たなビジネスを開拓するため、北東北三県・北海道ソウル事務所により韓国内バイヤー向けの PR とニーズ調査を行い、県内企業の韓国ビジネス開拓の支援を行った。

⑦ 台湾人観光客誘致拡大事業（県委託事業）

青森県へのチャーター便及び国内定期便を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施した。

ア 台湾旅行エージェントへの広告助成金の交付

(ア) 青函地域商品

台湾発で日本への定期便を利用した青函地域の移動を行程に含み青森県内に1泊以上宿泊する旅行商品を販売・実施する台湾旅行エージェントが行う販売促進に係る広告費用を助成した。

- ◆支援旅行社数 1社
- ◆支援先 創造旅行社

(イ) 立体型旅行商品：個人

台湾発で青森県、JAL、JR東日本及び台湾旅行会社が連携して造成した、飛行機と新幹線を利用した個人向け立体観光型旅行商品を販売・実施する台湾旅行エージェントに対し、販売促進に係る広告費用を助成した。

- ◆支援旅行社数 1社
- ◆支援先 永利旅行社

(ウ) チャーター便

台湾発で青森空港または三沢空港を発着するチャーター便を利用し青森県内に1泊以上宿泊する旅行商品を販売・実施する台湾旅行エージェントに対し、販売促進に係る広告費用を助成した。

- ◆支援旅行社数 春チャーター便（4～5月） 11社
秋チャーター便（10～11月） 11社
冬チャーター便（2月） 5社
- ◆支援先 台湾の旅行エージェント

イ チャーター便の歓迎及びお見送り対応

県及び県内観光事業者等と連携し、青森空港を利用した台湾からのチャーター便に対するの歓迎及びお見送りを行った。

- ◆実施回数 春チャーター便（4～5月） 7回
秋チャーター便（10～11月） 12回
スキーチャーター（1～2月） 9回
冬チャーター便（2月） 2回
計 30回

ウ 台湾における青森プロモーション

台湾からの誘客促進を図るため、台湾及び国内でのイベントや商談会等に参加し、本県の観光PRを行った。

(ア) 観光イベント

㊦ 台北国際観光博覧会（2016TTE）

- ◆期間 平成28年5月20日（金）～23日（月）
- ◆場所 台北世界貿易センター1号館（台北市）

㊧ 台北国際旅行博（ITF2016）

- ◆期間 平成28年11月4日（金）～7日（月）

◆場 所 台北世界貿易センター1号館（台北市）

（イ）観光商談会

㊦ VISIT JAPAN Travel Mart 2016 商談会

◆期 間 平成28年6月22日（水）

◆場 所 仙台国際センター（仙台市）

㊧ 東北プロモーションin台湾商談会

◆期 間 平成28年12月7日（水）・8日（木）

◆場 所 台中金典酒店（台中市）、晶宴会館民権館（台北市）

㊨ 航空キャリア提携旅行エージェント誘客促進事業に伴う商談会

◆期 間 平成28年12月20日（火）

◆場 所 弘前プラザホテル（弘前市）

エ 台湾からのMICE等の歓迎対応

台湾からのMICE等に対し、出迎え対応や記念品の進呈を行った。

（ア）中華民国旅館商業同業公会全国連合会歓迎対応

◆期 日 平成28年4月24日（日）

◆訪問者 中華民国旅館商業同業公会全国連合会理事長ほか
34名

（イ）台湾高雄市立陽明国民中学歓迎対応

◆期 日 平成28年5月24日（火）

◆訪問者 台湾高雄市立陽明国民中学校長ほか22名

（ウ）台北市議員・交通局等幹部歓迎対応

◆期 日 平成28年8月7日（日）

◆訪問者 台北市議員・交通局等幹部26名

（エ）台湾観樹教育基金会歓迎対応

◆期 日 平成28年9月29日（木）

◆訪問者 台湾観樹教育基金会29名

（オ）台湾国立政治大学歓迎対応

◆期 日 平成28年10月30日（日）

◆訪問者 台湾政治大学等16名

オ 青森県PRグッズの製作・配布

台湾における本県旅行商品の販売促進を図るため、青森県PRグッズの製作及び台湾旅行エージェントへ配布及び設置依頼を行った。

◆製作物 連続旗 610本

◆配布先 台湾旅行エージェント 37社

⑧ 海外団体旅行商品造成促進事業（台湾・韓国）（県委託事業）

台湾及び韓国からの誘客促進を図るため、新規性のある旅行商品に係る共同広告の実施及び支援を行ったほか、韓国旅行会社等を対象とした本県の観光コンテンツ説明会などを実施した。

ア 新規性のある旅行商品に関する共同広告の実施及び支援（台湾・韓国）

（ア）台湾冬季スキーチャーター便活用商品への広告支援

冬季間における台湾人観光客の誘客拡大を図るため、初めてスキーチャーターを目的として平成29年1月18日から2月19日までの期間に運行される台湾発で青森空港を発着するチャーター便を利用した旅行商品を販売・実施する台湾旅行社等に対し、販売促進に係る広告費用の助成を行った。

◆支援旅行社数 3社

◆支援先 高豊旅行社、欧普雷旅行社、東南旅行社

（イ）2016年度新規冬商品販売促進プロモーション宣伝広告費助成金

韓国人観光客の誘客拡大を目的として、平成28年12月1日～平成29年2月28日に実施する新規冬商品を販売する韓国国内の旅行会社に対し、販売促進に係る宣伝広告費の一部を行った。

◆支援旅行社数 4社

◆支援先 ホドトラベル、ザツアーショップ、ツアースタイル旅行博士

イ 青森コンテンツ説明会等の実施

（ア）青森旅行説明会

青森県の春・夏の観光資源を韓国旅行エージェント等にPRし、旅行商品の造成を促進することを目的に、青森県旅行セミナー（韓国）を開催した。

◆期 日 平成29年2月6日（月）

◆場 所 ザ・プラザソウル（ソウル市）

◆参加者 韓国旅行エージェント、青森県観光事業者・自治体等

（イ）販売コンテスト

造成された青森旅行商品を具体的な送客に繋げることを目的として、韓国旅行エージェントの販売に向けた意欲喚起を図るため、津軽海峡交流圏商品の販売実績が優れた韓国旅行エージェントに対して、青森県への職員研修旅費の一部を提供する販売コンテストを実施した。

◆期 間 平成29年1月1日（日）～2月28日（火）

※ただし、1月27日（金）は除く

◆対象旅行社 ハナツアー、モードツアー、ロッセ観光、韓進観光

（ウ）販促グッズ制作

海外旅行会社等の店頭で青森観光コンテンツをPRするため、店頭設置用のバナー及び販売促進グッズを制作し、配布した。

- ◆製作物 販売店店頭用バナー300 セット
販促用旅行ポーチセット1,200 セット
- ◆配布先 韓国旅行エージェント

⑨ ロケーションフォト旅行誘致調査事業（県委託事業） ※新規

外国人観光客の本県への誘客促進を図るため、台湾及び香港からのロケーションフォト旅行の誘致に向けた調査の実施と誘致に関する勉強会を開催した。

ア 台湾・香港の市場調査

海外におけるニーズやロケーションフォト撮影環境、関連イベント等の調査を実施した。

- ◆台湾 期間 平成28年11月6日（日）～8日（火）
- ◆香港 期間 平成29年2月10日（金）～11日（土・祝）

イ 国内のロケーションフォト旅行誘致成功事例の調査

函館地域の撮影スポット、演出方法、受入体制状況等の調査を実施した。

- ◆期 日 平成28年11月11日（金）

ウ 県内の受入環境等の調査

県内の関係機関等の受入環境等へアンケート調査を実施した。

エ 撮影スポット適地の調査

国内先進地・台湾・香港から事業関係者を招聘し、本県における撮影スポット候補地の選定、受入体制の整備、満足度の高い演出やサービス等について調査を行った。

- ◆期 間 平成29年2月21日（火）～22日（水）

オ ロケーションフォト旅行誘致促進に関する勉強会の開催

県内関係者のロケーションフォト旅行に関する理解を深め誘致を促進するため、県内市町村、関連事業者等を対象とした勉強会を開催した。

- ◆期 間 平成29年2月23日（木）

【外国人観光客誘致拡大事業による実績等】

- 誘客拡大業務による韓国旅行会社の商品造成数 延べ20社 43商品
- 誘客拡大業務による台湾旅行会社の商品造成数 延べ29社 155商品

(5) 観光キャンペーン推進事業

JR東日本・JR北海道や(公社)日本観光振興協会、青森県等とタイアップし、首都圏等における各種観光イベントや観光物産展等に参画するとともに、青森県・函館DCの取り組みと連動し、キャッチフレーズ「ひと旅 ふた旅、めぐる旅。青森・函館」とマスコットキャラクターの「いくべえ」を活用しながら観光PR等を実施した。

また、観光ガイドブック等の作成や首都圏等でのイベント等を通じて、本県の観光資源の魅力を全国にPRし、本県への一層の誘客促進を図った。

① 宣伝広報事業

ア あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命

県内外の各種観光キャンペーンイベント等において本県観光のPRを行う「あおもり紀行キャンペーンスタッフ」を任命した。

◆人数 5名

◆任期 平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)

イ 観光ガイドブック等の作成

あおもり紀行ガイドブックの作成

自然や食、温泉、祭りを主要テーマに、ホットな話題やイベント、観光施設等の情報を掲載した本県の旅の総合案内として「あおもり紀行イベントガイドブック」を作成した。

◆部数 夏・秋号 15万部

冬・春号 15万部

◆時期 夏・秋号 平成28年5月

冬・春号 平成28年10月

ウ リゾート列車の運行にかかる協議会への参画

JR五能線で運行されている「リゾートしらかみ」及び津軽線・大湊線等で運行されている「リゾートあすなろ」の各協議会に参画し、沿線市町村の観光情報を掲載したパンフレットの作成や各種イベント等に参画した。

エ 広告宣伝の展開等

各種新聞・雑誌等において本県の観光資源の魅力を紹介する広告宣伝を展開するとともに、マスコミ等の県内取材に対し積極的に協力した。

オ 観光イベント等への参画

JR東日本や（公社）日本観光振興協会、青森県等とタイアップして、首都圏等で観光イベントを積極的に展開した。

（ア）「2016 夏の旅」観光展

- ◆時 期 平成 28 年 6 月 25 日（土）～26 日（日）
- ◆場 所 JR大宮駅（埼玉県さいたま市）
- ◆主 催 （公社）日本観光振興協会関東支部

（イ）ハイウェイフェスタとうほく

- ◆時 期 平成 28 年 9 月 24 日（土）～25 日（日）
- ◆場 所 勾当台公園（宮城県仙台市）
- ◆主 催 東日本高速道路（株）東北支社

（ウ）東北復興大祭典なかの（青森人の祭典） ※県委託事業

- ◆時 期 平成 28 年 10 月 29 日（土）～30 日（日）
- ◆場 所 中野サンプラザ広場外（東京都中野区）
- ◆主 催 東京青森県人会

（エ）「2016 冬の旅」観光展

- ◆時 期 平成 28 年 12 月 8 日（木）～10 日（土）
- ◆場 所 JR横浜駅（神奈川県横浜市）
- ◆主 催 （公社）日本観光振興協会関東支部

（オ）ふるさと祭り東京 2016

- ◆時 期 平成 29 年 1 月 7 日（土）～15 日（日）
- ◆場 所 東京ドーム（東京都文京区）
- ◆主 催 ふるさと祭り東京実行委員会

（カ）その他

県内外で開催される各種観光イベント、観光物産展等に積極的に参画し、観光コーナーの設置、あおもり紀行キャンペーンスタッフによる観光PR等を行った。

② 誘客対策事業

ア 青森県観光セミナーの開催

首都圏からの誘客を強力に促進するため、県と共同で旅行エージェント等を対象とした観光セミナーを開催し、本県観光PRや商談会により、旅行エージェントにおける本県向け旅行商品の造成促進等を図った。

- ◆時 期 平成 28 年 6 月 2 日（木）
- ◆開催場所 ホテルグランドパレス（東京都千代田区）

イ 旅行商品造成対策

滞在型・周遊型旅行商品の造成を一層促進するため、市町村や関係機関と連携を図り、旅行エージェント等に対し本県の新しい観光素材や観光スポット、自然、食、温泉等の魅力を積極的に情報提供し、旅行商品の造成を強力に促進した。

- ◆時 期 平成 28 年 11 月、平成 29 年 2 月～3 月
- ◆訪 問 先 首都圏、名古屋市、大阪市
- ◆内 容 旅行エージェントへの集中訪問による商品造成の促進

ウ 航空路線活用対策

県内空港発着の航空路線が広がる中で、航空会社への情報提供や連携した取組により、旅行商品の造成や航空便を利用した誘客を促進した。

また、青森空港振興会議や航空会社等と連携を図りながら、チャーター便を利用して来県する観光客に対して歓迎イベント等を実施した。

③ 青森県・函館誘客促進プロモーション事業

北海道新幹線の開業効果を最大限に獲得するため、ＪＲ東日本の「重点販売地域指定」等と連携したキャンペーンに参画し、本県への誘客促進を図った。

ア 観光PRキャンペーンイベントへの参加

青森県・函館DC後も積極的に本県観光資源を紹介し、誘客促進を図るために行うキャンペーンイベントに参画した。

- ◆時 期 平成 29 年 1 月～2 月
- ◆場 所 ＪＲ浦和駅・品川駅

イ ＪＲ主要駅内観光物産フェアでの観光PRへの参画

ＪＲ東日本が実施する「産直市」に参画し、本県観光資源を積極的にPRし誘客促進を図った。

- ◆時 期 平成 28 年 5 月 20 日（金）～22 日（日）
- ◆場 所 ＪＲ上野駅

ウ 北海道と連携した観光プロモーションの実施（県委託事業）

北海道側と連携し、新幹線の発着地となる首都圏・北海道道南地域における各種プロモーションを展開し本県への誘客促進を図った。

（ア）首都圏におけるプロモーション

- ◆時 期 平成 28 年 6 月～平成 29 年 2 月
- ◆内 容 ＪＲ東京駅におけるイベント実施と雑誌「トランヴェール」・「旅の手帖」によるPRを行った。

(イ) 北海道内におけるプロモーション

- ◆時 期 平成 28 年 7 月～平成 29 年 3 月
- ◆内 容 はこだてグルメサーカス等イベントを通じた P R、テレビ「どさんこワイド 179」、雑誌「HAKORAKU」、ラジオ「FM いるか」を通じた P R

エ 旅行エージェント販売店舗等におけるキャラバン等の実施

(県委託事業)

旅行エージェントが造成した旅行商品の販売促進と更なる商品造成を働きかけるため、旅行エージェントの販売店舗等におけるキャラバンを実施したほか、観光 P R や旅行エージェント等に配布するためのポスター等を作成するとともに、本県の観光マスコットキャラクターである「いくべえ」によるプロモーションを展開し、本県への誘客促進を図った。

(ア) 販売店舗等キャラバンの実施

- ◆時 期 平成 28 年 5 月～12 月
- ◆場 所 首都圏・東北 J R 主要駅・旅行会社店舗等 30 箇所

(イ) 「いくべえ」によるプロモーション活動

- ◆時 期 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月
- ◆人 員 3 名

オ 北海道新幹線開業 1 周年を契機とした青森県・道南地域周遊観光 P R

(県委託事業)

北海道新幹線開業 1 周年を契機として、青森県・北海道道南地域を巡る周遊観光の更なる認知度向上及び同地域への誘客を促進するため、大都市圏の交通拠点等を活用したイベント等において、青森県・北海道道南地域観光情報の P R を行った。

- ◆時 期 平成 29 年 1 月～3 月
- ◆場 所 J R 東京駅、J R 上野駅、J R 大宮駅、J R 札幌駅
泉パークタウン（仙台市）

カ 首都圏旅行エージェント向け青函エリア観光現地研修の実施

(県委託事業)

首都圏の旅行商品造成担当者等を対象とした現地研修会を行い、本県をはじめとした青函周遊旅行商品造成の促進を図った。

- ◆期 間 平成 29 年 2 月 17 日（金）～18 日（土）
- ◆場 所 八戸市、東通村、風間浦村、大間町、函館市、北斗市
- ◆参 加 者 首都圏旅行会社 8 社 11 名

④ デスティネーションキャンペーン推進事業

平成 28 年 7 月から 9 月に実施した青森県・函館 D C では、青森県及び北海道道南地域への送客を促し、両地域を周遊していただくため、日本全国で配布するガイドブックの作成・配布により両地域内の魅力ある詳細な観光情報を発信したほか、地域の周遊を促すための各種企画を実施した。

また、キャンペーン本番に向けて自治体、観光関係団体、観光事業者が一丸となり、観光資源の掘り起こしや磨き上げの取り組みを加速したほか、更なる各種宣伝・広報、誘客対策、観光客受入体制整備を積極的に進め、全国からの集中的な誘客や地域経済の活性化を図った。

ア 宣伝・広報事業

(ア) 青森県・函館 D C ガイドブックの作成

青森県・函館 D C 本番に向けて、全国からの誘客促進を図るため、各地の観光資源や D C 期間中における取り組み・イベント等を掲載したガイドブックを作成した。

- ◆規 格 A4 判 64 ページ カラー
- ◆部 数 90 万部
- ◆時 期 平成 28 年 6 月～9 月
- ◆配布場所 全国の J R 主要駅、青森県及び北海道道南地域の観光拠点施設ほか

(イ) 5 連貼りポスターの作成

青森県及び北海道道南地域を全国にアピールするため、青森県・函館 D C 期間に合わせて 5 連貼りポスターを作成し、全国の J R 主要駅に掲出した。

- ◆規 格 B1 サイズ カラー 5 種類
- ◆枚 数 1,000 枚×5 種 計 5,000 枚
- ◆時 期 平成 28 年 6 月～9 月
- ◆掲出場所 全国の J R 主要駅

(ウ) 「別冊 旅の手帖」発行

青森県・函館 D C の協賛会社である (株) 交通新聞社と連携し、両地域の魅力をまるごと一冊に特集した旅行誌「別冊 旅の手帖」を発行し誘客促進を図った。

- ◆規 格 A4 変形判 カラー
- ◆発 売 日 平成 28 年 6 月
- ◆発売場所 日本全国の書店など

(エ) 専用ウェブサイトの運用

青森県・函館DCの概要や各地の取組状況、観光情報、イベント情報等を全国に向けて情報発信するとともに、関係住民への周知とDCへの参加意識の高揚を図るため、専用ウェブサイトを運用した。

(オ) 東京ステーションシティ運営協議会との連携PR

- ◆期 間 平成28年6月24日(金)～7月18日(月・祝)
- ◆場 所 JR東京駅
- ◆内 容 イベントステージにおける郷土芸能披露、飲食テナントにおける商品販売等

イ 誘客対策事業

(ア) 観光キャラバンの派遣

青森県・函館DCを契機として誘客促進を図るため、観光関係団体や観光事業者等と連携して観光キャラバンを派遣し、観光PRを行った。

㊦首都圏

- ◆期 間 平成28年5月19日(木)～20日(金)
- ◆場 所 JR東日本東京支社(営業部、池袋駅、品川駅、上野駅)、びゅうトラベルサービス本社、JR東日本大宮支社(営業部、大宮駅)、JR東日本横浜支社(営業部、横浜駅)、JR東日本八王子支社(営業部、立川駅、八王子駅)、JR東日本千葉支社(営業部、船橋駅、津田沼駅)、JR東日本水戸支社(営業部)、JR東日本高崎支社(上尾駅、高崎駅)

㊧東北地区

- ◆期 間 平成28年5月31日(火)～6月1日(水)
- ◆場 所 JR東日本仙台支社(営業部、仙台駅)、びゅうトラベルサービス東北、JR東日本盛岡支社(営業部、盛岡駅)、JR東日本秋田支社(営業部、秋田駅)

㊨北海道地区

- ◆期 間 平成28年6月9日(木)～10日(金)
- ◆場 所 JR北海道本社(営業部、ツインクルプラザ札幌支店 法人旅行札幌支店、札幌駅)、JR北海道旭川支社(営業部、旭川駅)、JR北海道釧路支社(営業部)

(イ) 観光キャンペーンイベントの開催

青森県・函館DCや北海道新幹線開業の告知を図るとともに、観光資源のPRを行い、首都圏からの誘客促進を図るため、首都圏主要駅において観光キャンペーンイベントを開催した。

㊦ JR大宮駅

- ◆期 間 平成28年6月2日(木)～5日(日)
- ◆内 容 観光クイズの実施、青森県及び北海道道南地域の特産品販売、郷土芸能の披露など

㊧ JR東京駅

- ◆期 間 平成28年6月24日(金)～7月18日(月祝)
- ◆場 所 観光PR装飾やイベント、東京駅改札内外テナントにおける青函食材メニューの販売など

(ウ) 「SL 銀河青函DC号」の運行

青森県・函館DCの中核イベントとして、JR青森駅とJR弘前駅間でSLを運行した。

- ◆運 行 日 平成28年9月17日(土)、19日(月・祝)
- ◆運行区間 JR青森駅～JR弘前駅間

(エ) お酒をテーマとした誘客イベントの開催

青森県及び北海道道南地域の魅力ある酒をテーマとして、誘客を図るための各種イベントを実施したほか、大型イベントに参画しPRを実施した。

㊦ 「青森県と北海道道南のお酒を愉しむ会」開催

- ◆時 期 平成28年9月22日(木・祝)～23日(金)
- ◆場 所 青森国際ホテル(青森市)
- ◆内 容 両地域の酒と肴の組み合わせ提案

㊧ 大型イベントにおける酒の魅力PR

- ◆期 間 函館市 平成28年8月6日(木・祝)～7日(金)
五所川原市 平成28年9月24日(土)～25日(日)
- ◆場 所 はこだてグルメガーデン会場(函館市)
あおもり10市大祭典会場内(五所川原市)
- ◆内 容 両地域の酒を紹介するPRパネル掲出・試飲

㊨ イベント列車「あおもり酒号(しゅごう)」の運行

- ◆時 期 平成28年8月27日(土)
- ◆区 間 JR弘前駅～JR八戸駅間(1往復)
- ◆内 容 車内及び停車駅における酒及び食資源の紹介・PR

ウ 観光開発・受入体制整備事業

(ア) エリア別ガイドブックの作成

青森県・函館DCを契機に、両地域を訪れた旅行者等に“より満足いただく”ため、各地域の観光資源・イベント・二次交通情報等を掲載した着地型観光ガイドブックを作成した。

- ◆規 格 A4判 28ページ カラー 4種類
- ◆部 数 7万部×4種類(4エリア) 計28万部
4エリア内訳:「青森・八甲田・十和田」「津軽・西海岸」
「八戸・三沢・下北」「北海道道南」
- ◆時 期 平成28年6月下旬～9月末
- ◆配布場所 青森県及び北海道道南地域のJR主要駅、両地域の観光拠点施設ほか

(イ) 青森県及び北海道道南地域掲出用ポスター作成

青森県・函館DC本番に向けた気運醸成及び青森県及び北海道道南地域への来訪歓迎並びにDC告知を表現するため、ポスターを作成し各所に掲出した。

- ◆規 格 B1サイズ カラー 1種類
- ◆枚 数 1,000枚
- ◆時 期 平成28年6月～9月
- ◆場 所 青森県・函館DC推進委員会会員施設等

(ウ) その他観光開発・受入体制整備に係る展開

青森県・函館DCの周知と歓迎の意を込めて、県内及び北海道道南地域の各商店街にフラッグ及びのぼりの掲出を行ったほか、缶バッジを作成・配布した。

エ 青森県・函館DC期間中の周遊等各種事業

(ア) 青函周遊促進企画の実施

青森県及び北海道道南地域の周遊促進を図るため、両地域の観光施設等において、スタンプ押印・応募を通じ抽選で賞品が当たる「いくべえ青森・函館スタンプラリー」を実施した。

- ◆期 間 平成28年7月～9月
- ◆場 所 青森県・函館DC推進委員会会員施設等
- ◆内 容 応募ハガキに参加施設のスタンプ3個集めて応募した中から、抽選で1,000名に本県及び北海道道南地域のペア宿泊券や両地域の特産品などをプレゼントした。
- ◆応募総数 14,341件

(イ) 青森県・函館DCオープニングセレモニーの開催

青森県・函館DCのスタートのPRによる両地域への誘客を促すほか、地元におけるお客様をお出迎えする機運を高めるためのセレモニーを開催した。

㊦ 青森県側

- ◆期 日 平成28年7月1日(金)
- ◆場 所 ねぶたの家ワ・ラッセ(青森市)
- ◆内 容 セレモニー開催、会場でのお客様出迎え

㊧ 北海道道南側

- ◆期 日 平成28年7月2日(土)
- ◆開催場所 JR函館駅隣接特設会場(函館市)
- ◆内 容 お客様お出迎え、セレモニー開催

(ウ) ファイナルセレモニーの開催

青森県・函館DCの取り組みに伴い、両地域に訪れた観光客の皆様へ感謝の意を表しながら、地元におけるお客様をお出迎えする機運醸成に努め、観光振興への取り組みを継続していく必要性を訴求していくため、ファイナルセレモニーを開催した。

- ◆期 日 平成28年9月25日
- ◆場 所 あおもり10市大祭典会場(五所川原市)
- ◆内 容 郷土芸能披露、関係者挨拶等

(エ) 青森県・函館DC記録集の制作

各市町村及び観光観連事業者等が実施した様々な取組や事業などを総括・記録し、今後の観光を活かした地域づくり・活性化への活用を目的として記録集を制作した。

- ◆規 格 A4判 カラー 66頁
- ◆部 数 1,200部

【デスティネーションキャンペーン事業による実績等】

- イベント入込状況 8,238千人(延べ人数)
対前年比105.2%(404千人増)
- 観光施設等入込状況 6,043千人(延べ人数)
対前年比110.4%(569千人増)
- 新規青函周遊旅行商品造成 60種類以上

(6) 受入体制整備事業

① 観光案内所運営事業

青森県東京観光案内所を運営し、本県観光情報の発信や問合せへの対応を行うとともに、県内観光案内所の連携による観光情報の提供及び観光案内体制の充実強化を図った。

ア 青森県東京観光案内所の運営（県委託事業）

◆所在地 東京都千代田区富士見 2-3-11 青森県会館 1階

イ 青森県内観光案内所連絡会議の開催

県内の各観光案内所（40か所）の円滑な業務運営と広域観光案内に対応するため、連絡会議を開催した。

◆期 日 平成28年5月11日（水）

◆場 所 青森県観光物産館

② 「もてなしの心」運動推進事業

北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業及び青森県・函館DCの実施を見据え、本県を訪れた観光客を温かくもてなすため、県民及び観光事業者に対して「もてなしの心」の気運醸成を行い、受入体制の整備を図った。

ア クリーン大作戦の実施

本県を訪れる多くの観光客を温かくもてなす県民運動の一環として、美しい自然環境を大切にし、後世に残していく意識を醸成するため、小さな親切運動青森県本部とともに「春のクリーン大作戦」を実施した。

◆期 日 平成28年4月23日（土）

◆場 所 県内各地

◆参加人員 約10万人

イ 観光ボランティアガイド県大会の開催事業（県補助事業）

観光ボランティアガイド県大会を開催し、先進事例の研修や活動事例発表などを通じ、ガイド団体相互の情報交流、ガイドのスキルアップを図った。

◆期 日 平成28年6月11日（土）

◆場 所 ラ・プラス青い森

◆内 容 青森市内視察研修、協議会加盟団体活動発表など

(7) その他観光振興事業

① 観光リーダー実践研修事業

地域の魅力を活かしたコンテンツづくりやおもてなしの取組みなど、本県の観光振興の中核となる地域の人材の育成と活用を図るための研修事業を実施した。

ア 第1回

- ◆期 日 平成 28 年 12 月 9 日（金）
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆講 師 東日本旅客鉄道（株）本社営業部トランスイート四季島
PT副課長（前青森県・函館デスティネーションキャンペーン推進室 事務局長） 大瀬 雅和 氏
- ◆テ ー マ 「デスティネーションキャンペーン後のいま、取り組むべきこと」
- ◆参 加 者 県内市町村、観光関係団体、観光事業者等 49 名

イ 第2回

- ◆期 日 平成 29 年 1 月 18 日（水）
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆講 師 株式会社リクルートライフスタイル 地域創造部
じゃらんリサーチセンター長 沢登 次彦 氏
- ◆テ ー マ 「今後の地域観光力（経営力）を高める、『地域の観光マーケティング』の実践方法について」
- ◆参 加 者 県内市町村、観光関係団体、観光事業者等 52 名

ウ 第3回

- ◆期 日 平成 29 年 2 月 22 日（水）
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆講 師 観光カリスマ工藤事務所 工藤 順一 氏
- ◆テ ー マ 「農業を『無限の観光資源』にとらえ、観光客を『着地』させた手法について」
- ◆参 加 者 県内市町村、観光関係団体、観光事業者等 41 名

② 観光功労者表彰

観光思想の普及による観光振興に向けた意識の高揚や受入体制の整備を図るため、本県の観光振興に顕著な功績が認められる者を表彰した。

ア 個人

- ・坂本 府隆（大鱒温泉観光協会会長）
- ・沢田 禮（前東北町観光協会会長）
- ・川口彰五郎（おいらせ観光協会顧問）
- ・上野 正藏（階上町観光協会会長）

イ 団体

- ・NPO法人かなぎ元気倶楽部

ウ 表彰状

- ・畑中 宏之（十和田バラ焼きゼミナール舌校長）

- ③ 観光振興事業（県補助事業）
（公社）日本観光振興協会が全国的または重点的に実施する全国広域観光振興事業に対し拠出した。
- ④ 広域観光振興事業
 - ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画
北東北三県観光立県推進協議会に参加し、北東北広域による国内観光の推進を図るとともに、外国人観光客の受入体制の整備、誘客促進及びPRに努めた。
 - イ 東北観光推進機構の事業への参画
東北観光推進機構の事業に参画し、広域観光の推進を図った。
 - ウ イルミネーション及びライトアップ機材の貸出し
県内市町村等にイルミネーション及びライトアップ機材の貸し出しを行い滞在型観光及び冬季観光の振興を図り誘客を促進した。

2 青森県観光物産館管理運営事業

観光・物産の情報発信拠点である青森県観光物産館の機能強化と魅力向上を図り、展望台・パノラマ映画などの各種展示コーナー、青森県地場セレクトなどの物産販売店、会議室等の管理・運営、市町村と連携したイベント等の開催を通じ、本県の観光、物産、郷土芸能及び産業などを総合的に紹介・宣伝した。

また、開館30周年を周知するため記念セレモニーや先着プレゼント、有料コーナー無料開放等各種記念企画及び地元三紙への新聞広告掲載（全15段）を行った。青森県・函館DC関連企画として、本県と北海道道南地域の交流を図るため、道南地域をパンフレットやポスター、映像等で紹介するコーナーを設けた。

（1）観光資源紹介事業

青森市内唯一の展望施設である地上51メートルの展望台、360度の全周映像で県内40市町村の四季の自然や祭り、郷土芸能等の観光資源を紹介するパノラマ映画をはじめ各種展示コーナーの管理・運営等を行った。

また、主催イベントの充実を図るとともに、県や市町村、関係団体等と連携し、地域の振興を図った。

(2) 貸会議室事業

館内の会議室を、本県の観光、物産、郷土芸能及び産業などの振興や地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出しし、本県観光及び産業の振興に寄与した。

(3) 青森県地場セレクト運営事業

県内地場産品の掘り起こしを進め、こだわりやストーリー性のある地場産品を紹介・販売する「青森県地場セレクト」の運営を行い、店舗での消費者の反応や改良点などを生産者にフィードバックし、商品改良・販路拡大に活用し、地域や産業の振興を図った。

(4) テナント事業

青森県の主要な産業の一つであるエネルギー施策PRの展示・体験施設と雇用促進関連事業であるハローワーク関連施設やジョブカフェあおもり等を入居させ、その活動及びサービスの場を提供することにより、本県の産業の振興を図った。

(5) PRホール運営事業

青森県観光物産館1・2階において、市町村の観光、物産、郷土芸能、民芸品を紹介・宣伝するとともに、本県を代表する郷土芸能である津軽三味線の無料演奏会を開催した。

〔収益事業〕

1 イベントスペース・貸会議室事業

青森県観光物産館館内のイベントスペース及び会議室（11室）を各種会議や催事会場として貸出しした。

2 テナント事業

青森県産にこだわった特色ある土産品店（5店舗）と飲食店（3店舗）をテナントとして入居させ、青森県の物産と食の魅力を提供した。

3 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

青森県観光物産館来館者等の利便性向上を図るため、一般及びバス駐車場を管理・運営した。

【28年度青森県観光物産館管理運営事業の主な実績等】

- 青森県観光物産館の総利用者数 1,113,760人
(対前年比108.2%・84,356人増)
- 貸会議室の利用件数 2,490件
(前年比93.3%・179件減)
- 津軽三味線無料演奏会実績 演奏回数735回・観客数19,570人
(前年比 演奏回数99.1%・7回減、観客数103.9%・727人増)
- 駐車場駐車台数(乗用車タイプ) 131,382台
(前年比101.6%・2,096台増)
- 月極駐車場契約台数 70台
(前年比94.6%・4台減)